

◆セルフトレーニング問題2020◆

■ 問題 ■

問題1 人間ドック健診を受診の50歳男性。頭部MRA（MR angiography）（図1）にて異常所見を認めた。この画像所見や疾患に対する説明で、不適切と考えられるものを2つ選べ。

- (a) 図2からは、右椎骨動脈の外径が紡錘状に拡張していることが分かる。
- (b) 図2を踏まえて図1を観察すると、偽腔が描出されていると考えられる。
- (c) 先行する頭痛や頸部痛の有無に関する問診が望ましい。
- (d) 直ちに脳外科的治療を要する。
- (e) 脳ドックで偶然見つかることは非常に稀である。

図1

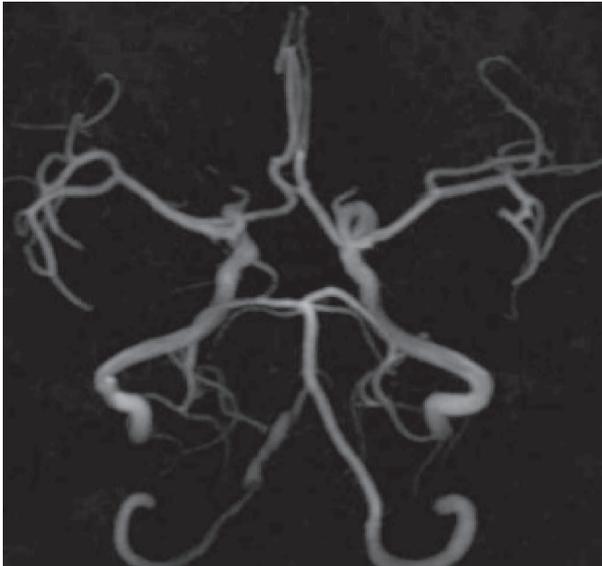
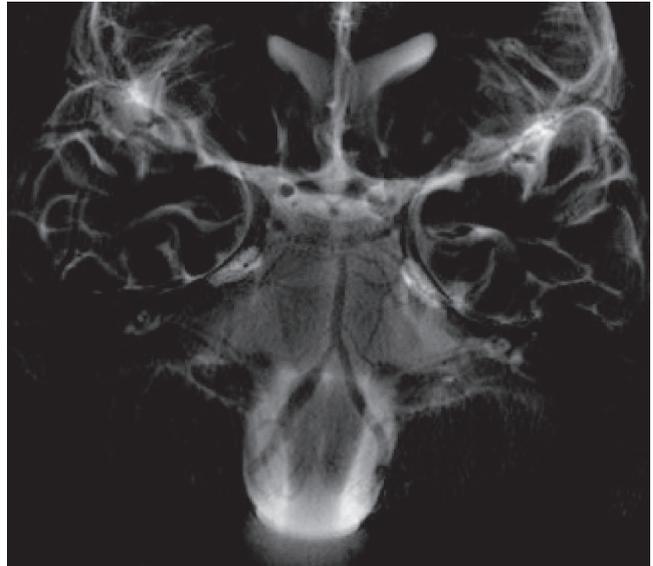


図2



問題2 生理的健忘と比較して病的健忘として典型的でないのはどれか。1つ選べ。

- (a) 病識はあることが多い。
- (b) 記憶障害が全体的で著しいことが多い。
- (c) 見当識が障害されることが多い。
- (d) 学習能力が障害されることが多い。
- (e) 日常生活に支障をきたすことが多い。

問題 3 無症候性下肢閉塞性動脈硬化症 (arteriosclerosis obliterans: ASO) について誤っているのはどれか. 1つ選べ.

- (a) 5年後の潰瘍発症率は低い.
- (b) 5年後の生命予後は健常者と同等である.
- (c) ankle brachial (pressure) index : ABI は生命予後を予測するバイオマーカーである.
- (d) 予防的な観血的治療の正当性は証明されていない.
- (e) 有病率は症候性の約2~5倍と言われている.

問題 4 GIST (消化管間質腫瘍) について誤っているのはどれか. 2つ選べ.

- (a) 発症率は年間10万人に1人から2人くらいとされている.
- (b) KIT を含めた免疫組織化学を行って診断される.
- (c) 腫瘍径と核分裂像数により、リスク分類が行われている.
- (d) 遠隔転移は主としてリンパ節に生じやすい.
- (e) 切除不能例や高リスク群の術後にはテガフルル・ウラシル配合剤内服が推奨される.

問題 5 乳がん検診について正しいのはどれか. 2つ選べ.

- (a) 視触診は死亡率を減少させる.
- (b) 40歳代に対するマンモグラフィは死亡率を減少させる.
- (c) 50歳以上に対するマンモグラフィは死亡率を減少させる.
- (d) 我が国の検診マンモグラフィにおける利益は被曝のリスクを超えられない.
- (e) マンモグラフィのカテゴリー分類は所見の評価と方針決定に有用性がない.

問題 6 55歳男性, 健診で白血球数と血小板数の増多を指摘された. 末梢血の血算の検査結果は, 白血球 $12,200/\mu\text{L}$, 赤血球 $425万/\mu\text{L}$, Hb 14.0g/dL , Ht 42.0% , 血小板 $68万/\mu\text{L}$ であった. 最も考えられる疾患はどれか. 2つ選べ.

- (a) 慢性骨髄性白血病
- (b) 急性骨髄性白血病
- (c) 本態性血小板血症
- (d) 慢性リンパ性白血病
- (e) 急性リンパ性白血病

問題 7 労働安全衛生法での定期健康診断では必須ではないが、特定健康診査では必須とされる項目は次のうちどれか。1つ選べ。

- (a) 視力
- (b) 尿糖
- (c) 喫煙歴
- (d) 12誘導心電図
- (e) 血清クレアチニン

問題 8 無症候性微小脳出血（cerebral micro bleeds）について正しいのはどれか。2つ選べ。

- (a) 抗血栓薬服用とは関連がない。
- (b) 糖尿病とは関連がない。
- (c) 脳卒中の既往と関連がある。
- (d) 高血圧と関連がある。
- (e) アミロイドアンギオパチーとは関連がない。

問題 9 最近の死亡統計（国民の衛生の動向2018/2019による）から誤っているのはどれか。2つ選べ。

- (a) 悪性新生物の死因は、昭和56年以降、第1位を続けている。
- (b) 男性では、がんによる死亡数は、肺がん、胃がん、大腸がん、肝がん、膵がんの順に多い。
- (c) 肺炎は死因として、2015年、2016年と第3位であったが、2017年には第5位であった。
- (d) 最新の死亡統計によると、上位4死因は、悪性新生物、心疾患、脳血管障害、肺炎の順である。
- (e) 女性では、がんによる死亡数は、大腸がん、肺がん、胃がん、乳がん、子宮がんの順に多い。

問題10 尿酸値を評価するに際して正しいのはどれか。2つ選べ。

- (a) 高尿酸血症には、尿酸産生過剰型がある。
- (b) 低尿酸血症は、尿酸排泄低下による。
- (c) 尿酸排泄低下型では、尿酸クリアランスが $>10\text{mL}/\text{min}$ である。
- (d) 尿酸産生過剰型では、尿中尿酸排泄量が $<0.51\text{mg}/\text{kg}/\text{時}$ である。
- (e) 病型分類は尿酸クリアランスおよびクレアチニンクリアランスの測定で評価される。

問題11 71歳女性. 約5年前に近医で, 関節リウマチ (RA) と診断. 現在, メトトレキサート (MTX) 8mg/週, 葉酸製剤 5mg/週併用により RA 疾患活動性は寛解となっている. 人間ドック健診のため受診. 問診で, 1ヵ月前から口内炎がしやすいとのことであったが, 身体所見に特記すべき所見はなかった. 現在, 8週間ごとに RA について近医受診中であり, 2週間前の受診では寛解しているとのこと, 血液検査は行われなかった. 当日の人間ドック健診で, 白血球 1,500/ μ L, 赤血球 420万/ μ L, ヘモグロビン 13.0g/dL, ヘマトクリット41.0%, 血小板 28.5万/ μ Lであった. 胸部単純レントゲン検査を含め他に特記すべき所見はなかった. 1年前の人間ドック健診では, 白血球 5,800/ μ L であった. 当日の結果説明として適切な対応はどれか, 1つ選べ.

- (a) 当該人間ドック健診センターでは, オプション検査として, 白血球像を採用している. このため, 白血球像を調べ, その結果を3週間後に郵送する.
- (b) 明らかな自他覚所見はなかったが, 感冒などのウイルス感染症で白血球が減少することがあるので, 経過観察とする.
- (c) 特に心配ない程度なので, 次回, 6週間後にかかりつけ医を受診する時, 再検査を受けることとする.
- (d) 薬剤の副作用が考えられるので, メトトレキサート, 葉酸製剤ともに中止し, かかりつけ医を受診. 薬剤の中止・変更について相談することとし, うがい・手洗いなど感染症の予防策を説明する.
- (e) メトトレキサートの副作用が考えられるので, 至急, かかりつけ医を受診. メトトレキサートの中止・変更について相談することとし, うがい・手洗いなど感染症の予防策を説明する.

問題12 眼科疾患の診断に有用な検査の組み合わせはどれか, 2つ選べ.

- (a) 加齢性白内障 ----- 調節検査
- (b) 高血圧性網膜症 ----- 眼底検査
- (c) 加齢性黄斑変性 ----- 眼圧検査
- (d) 開放隅角緑内障 ----- 視野検査
- (e) 老眼 ----- 屈折検査

問題13 肝細胞癌で上昇するのはどれか, 2つ選べ.

- (a) PIVKA II
- (b) Span-1
- (c) CA125
- (d) CYFRA
- (e) α -フェトプロテイン

問題14 原発性副甲状腺機能亢進症について誤っているのはどれか。2つ選べ。

- (a) 中高年の男性に多い。
- (b) 過形成によるものが最も多い。
- (c) 血中 intact PTH 上昇は診断上重要である。
- (d) 血清カルシウム高値から診断に至ることが多い。
- (e) 局在診断には超音波検査や MIBI シンチグラフィ検査が用いられる。

問題15 胸水の性状について正しいのはどれか。2つ選べ。

- (a) 漏出性胸水は、Rivalta 反応陽性の場合が多い。
- (b) 肺癌では ADA (アデノシンデアミナーゼ) が高値となる。
- (c) 悪性胸膜中皮腫ではアミラーゼが高値となる。
- (d) 肺炎では左側胸水の頻度が高い。
- (e) 結核性胸膜炎ではリンパ球が多い。

問題16 子宮頸がん検診について正しいのはどれか。2つ選べ。

- (a) 妊婦の細胞採取器具は綿棒が望ましい。
- (b) 自己採取細胞診は精度が低いため推奨されない。
- (c) 子宮頸部細胞診の判定で ASC-US の場合、コルポ診・生検は適応でない。
- (d) LBC (液状化検体細胞診) では不適正検体が減少する。
- (e) 子宮頸部細胞診の結果報告は日母分類またはベセスダシステムにより分類し、どちらを用いたかを明記する。

問題17 ストレスチェック制度について正しいのはどれか。2つ選べ。

- (a) ストレスチェック制度の目的はうつ状態を早期に発見することである。
- (b) ストレスチェックの実施率は大規模事業場ほど高い。
- (c) 労働者は受検義務がある。
- (d) 高ストレス者のうち約20%が医師による面接指導を受ける。
- (e) 集団分析は職場環境改善の参考になる。

問題18 次のうち、誤っているのはどれか。1つ選べ。

- (a) 血糖値が 120mg/dL 以上で尿糖が出現しやすい。
- (b) 尿蛋白・尿潜血ともに陽性の場合には糸球体腎炎の可能性が高い。
- (c) 糖尿病性腎症の早期発見には微量アルブミン尿が重要である。
- (d) 起立性蛋白尿の診断には、随時尿・早朝尿の両方を調べるとよい。
- (e) 試験紙法とスルホサリチル酸法で尿蛋白所見の乖離がある場合、ベンス・ジョーンズ蛋白など低分子蛋白の存在を疑う。

問題19 次のうち、誤っているのはどれか。2つ選べ。

- (a) CA125 は妊娠で増加する。
- (b) TPA は臓器特異性が高い。
- (c) HER2 陽性は卵巣癌である。
- (d) p53 は癌抑制遺伝子である。
- (e) PSA は前立腺肥大症で増加する。

問題20 患者の個人情報について正しいのはどれか。1つ選べ。

- (a) 意識がないなど緊急時で本人の同意を得られない状態では、医師は本人の同意を得ないで他の医療機関に情報を提供できる。
- (b) 患者の医療情報は刑法などによる守秘義務があるので、個人情報保護法とは関係ない。
- (c) 国の行政機関からの要請があっても、その内容は漏らしてはいけない。
- (d) 患者情報に関する警察の求めに対しても、裁判時以外では情報は漏らしてはいけない。
- (e) 地方自治体の個人情報提供の要請にも、情報は漏らしてはいけない。

問題21 遺伝性出血性末梢血管拡張症について誤っているものはどれか。2つ選べ。

- (a) 常染色体劣性遺伝により発症する。
- (b) 責任遺伝子として Endoglin, ALK-1, SMAD4 が知られている。
- (c) 鼻出血が反復し、消化管粘膜には末梢血管拡張を認める。
- (d) 肺, 肝, 脳の動静脈奇形を認めることは稀である。
- (e) 厚生労働大臣が定めた指定難病の1つである。

問題22 成人において、治療前の喘息の臨床所見が「頻度が週1回以上だが毎日ではない、月に1回以上日常生活や睡眠が妨げられる、夜間症状は月に2回以上であり、%FEV₁, %PEFは80%以上で日内変動は20~30%」の場合、重症度はどれか。1つ選べ。

- (a) 軽症間欠型
- (b) 軽症持続型
- (c) 中等症持続型
- (d) 重症持続型
- (e) コントロールされた状態

問題23 遺伝カウンセリングで正しいのはどれか。1つ選べ。

- (a) クライエントの意思決定を誘導する。
- (b) 新生児の遺伝学的検査は行ってはならない。
- (c) 医師でなくとも行ってよい。
- (d) パターンリズミ的なアプローチが推奨される。
- (e) 兄弟姉妹に遺伝学的検査結果は伝えてはならない。

問題24 糖尿病関連検査で境界型となった場合、正しいものはどれか。1つ選べ。

- (a) 75gOGTT で2時間値が150mg/dL 以上の場合は糖尿病への進展率が高い。
- (b) 75gOGTT のインスリン分泌指数が0.4以下は糖尿病への進展率が高い。
- (c) 境界型は糖尿病と異なり血糖上昇が軽度のため、糖尿病の合併症である動脈硬化になることは少ない。
- (d) 1年後に健診での経過観察が推奨されている。
- (e) 境界型の病態は、インスリン分泌障害かインスリン抵抗性の増大が種々の割合で組み合わさっているが、前者はメタボリックシンドロームを呈するものが多い。

問題25 虚血性心疾患の危険因子について誤っているのはどれか。1つ選べ。

- (a) 耐糖能異常
- (b) 飲酒
- (c) HDL-C が25mg/dL
- (d) メタボリックシンドローム
- (e) 父親が40歳で心筋梗塞を発症